

○お知らせ

第12回 日本周産期メンタルヘルス学会学術集会 開催案内

日 程：2015年10月31日（土）～11月1日（日）

会 場：自治医科大学地域医療情報研修センター（栃木県下野市）

テーマ：「周産期メンタルヘルスケア～過去・現在・未来～」

学術集会会長：松原茂樹（自治医科大学産科婦人科学講座教授）

参加費：正会員3,000円・臨時会員4,000円・学生1,000円

※ 事前参加登録は行いません。当日、会場にてお申込みください。参加費は現金でお支払いください。クレジットカードはご利用出来ません。

主なプログラム（予定）：

シンポジウム①「周産期メンタルヘルスにおける多職種連携の充実に向けて—各職種からの報告」

特別講演①「周産期精神医学の過去・現在・未来」

座長：玉田太朗／自治医科大学名誉教授

演者：岡野慎治／日本周産期メンタルヘルス学会理事長

シンポジウム②「妊娠・産褥期のうつ病に対する職種間連携の役割と問題点」

教育講演「向精神薬の乳汁移行と母乳育児支援」

座長：桑田知之／自治医科大学産科婦人科学講座准教授

演者：伊藤直樹／帝京大学医学部附属病院小児科講師／妊娠と薬情報センター

シンポジウム③「出生前診断」

特別講演②「母親の愛情深い養育が、乳幼児の脳の健全な発達に不可欠である—Resilienceを身に着ける」

座長：田中光臣／栃木県産婦人科医会会長

演者：木下勝之／日本産婦人科医会会長

シンポジウム④「新生児虐待の発生メカニズムと養育支援—よりよい制度の構築に向けて」